

くまさんといっしょに

エコな遊びを考えよう

お正月のししまいの笛やたいこの音。
江戸の町はにぎやかです。道では、たこあげ、
こま回し。羽根つき、まりつき。たこには、
けんがだこというのもあって、あいての糸を
切って、落としたり。大人も楽しみました。



たこあげ、はわつき、
こま回し。



江戸のすごろくの中で、
「いたずらすごろく」を発見。
『こつくり、こつくりねむる
人のはなをこちよ、こちよ』
なんていういたずらがマスの
目に書いてあります。



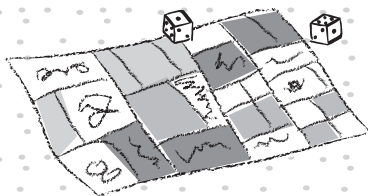
お手玉

石や貝、ほねをほうり上げ
たり、下でよせたりして遊ん
でいたのが、江戸時代にダイ
ズなどを布に包むようになり、
今の形になりました。

すごろく

カルタ

カルタは、もともとは
ポルトガル語のカードの
意味でした。百人一首は
歌カルタともよばれまし
た。歌のほうではなく、
ほうずめくりは、ときどき
しませんでしたか？



江戸の遊びがエコなわけ

「ずいずいずっころばし、ごまみそずい」

江戸の子どもが手遊びをしたり、ままごとをしたり。外を見ると、おにごっこ、おしくらまんじゅう。道具を使ったものは、竹馬、竹とんぼ。こわれたおけについていた、たが（竹でできた輪）を回して競争をしている子もいます。いらぬものを使って遊んだり、自然にかえる材料のおもちゃだったり。だから、地球にやさしいエコな遊びというわけです。